

史学概論 I

科目ナンバリング HSG-201
必修 2単位

柿沼 陽平

1. 授業の概要(ねらい)

歴史学とはどのような学問か。大学で歴史学を学ぶとはどういうことか。私たちはいかなる方法によって歴史を知りうるのか。過去と歴史は同じものだろうか。歴代の歴史家は何と格闘してきたのか。この授業では、こういった問いを、根源の根源から考えてゆく。そのうえで、たんに歴史を「覚える」のではなく、歴史をみずから「調べる・考える」とはどういうことかを熟考する。いっしょに皆さんとこういった問いを考えたい。

2. 授業の到達目標

- ・歴史学を学ぶ者にとって必須の哲学的素養を身につける。
- ・歴史学の歴史を概観する。
- ・史学科の学生として自ら歴史学を研究することができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点(毎回の授業にどれほど熱心に取り組んでいるか、積極的に発言をしているかをみる)
- ・レポート

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

適宜指示する。

6. その他履修上の注意事項

まじめな学生を歓迎する。高等学校のときに日本史・世界史・地理・政治経済のどれを重点的に学んだかは一切問わない。初心者大歓迎。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション。
- 【第2回】 学問とはなにか。
- 【第3回】 大学とはなにか。
- 【第4回】 歴史をまなぶ意味とはなにか。
- 【第5回】 歴史叙述のありかた①
- 【第6回】 歴史叙述のありかた②
- 【第7回】 歴史叙述のありかた③
- 【第8回】 歴史叙述のありかた④
- 【第9回】 キリスト教と歴史学
- 【第10回】 実証主義史学
- 【第11回】 皇国史観と国民国家史観
- 【第12回】 マルクスと唯物史観
- 【第13回】 アナール学派
- 【第14回】 歴史学の新手法——出土資料・データベース・赤外線図版など
- 【第15回】 まとめ